

◆2021年度中学入試算数 講評【聖光学院】

例年通り、小学生である受験生にとって無理のない範囲で、中学受験算数で学んできた知識をもとに試行錯誤したり、抽象化したりする力が求められています。

最近の特徴として、後半で平面図形と立体図形の総合的な問題が目立ちます。また「考えられるものをすべて答えなさい」という出題が近年多くなりましたが、そう聞かれたのにもかかわらず、答えが一つしかない問題が複数あったのは、困惑した受験生が多かったかもしれません。勘や、あてはめて偶然答えを見つけた受験生を有利にしないような配慮でしょうか。

大問2 整数

導入の仕方が非常に面白い問題でした。

(2)も(3)も考えられるものをすべて答えなさい、と聞かれて、答えが一つずつしかなかったのは、困惑した受験生が多かったかもしれません。

大問5 立体 切断 断面

複雑に見えますが、切断の正しい理解を問う、素直な出題です。